

# 滋賀県 東近江市 里山をいかした子育て環境づくり、人づくり事業

## 背景

- ・ 東近江市は、日本の1,000分の1モデル
- ・ 総合戦略には「戦略を実現するためのストーリー」がある
- ・ そのひとつ「**自然を最大限いかした子育て環境づくり**」を！

## 事業の 目的

- ・ 自然体験活動を通じて、**自ら考え、行動する子どもを育成**
- ・ 自然環境をいかした**保育の担い手の確保**
- ・ **子どもが地域に愛着を持つ**ことにより、人口流出を抑制
- ・ **子育て世代の定着や移入**を促進

## これまでの 取組

- ・ 園の身近な自然に園児と出かけ、**自然の楽しさを伝えながら子どもを育成するスキル**を有する市職員が、本市独自の「**里山保育**」を実施（H27年度～）
- ・ **どの園でも実施できる**ことがメリット
- ・ 市内全27園、5歳児約1,000人がいる中、**4割強の園児**まで拡大

## 現状の 課題

- ・ スキルを有する職員が少なく、**更なる拡大が困難**
- ・ **里山保育は、子どもや市にとって重要**と考えてくれる市民が、自然環境をいかした子どもの育成に**関わりたい**と思っているが、**スキルがない**



↑里山保育の様子

# 滋賀県 東近江市 里山をいかした子育て環境づくり、人づくり事業

## 事業内容

### 地域資源をいかし、収入を伴う女性の活躍の場を創出

- ・主に子育て世代の女性を中心に思いを持つ市民が「東近江さとやまNannies」結成済
- ・同団体にスキルを伝え、指導者育成の仕組みを構築
- ・令和2年度から、スキルの受け渡しをスタートしたが、軌道にのせていくことが肝要
- ・仕組みを持続可能なものとし、団体の活動を支援



↑東近江さとやまNanniesによる指導の様子



↑東近江さとやまNanniesのメンバーに発見を伝える園児

## 得られる成果等

### 成果・目標

- ・R6年度5割、R10年度10割の園児に里山保育を実施
- ・指導者を最低18人育成
- ・同団体が、自然環境をいかした収益事業を実施
- ・子どもが動くと地域も動く。  
里山保育を通じて人と自然との関わりを取り戻す。

### 企業様に求めるもの

- ・本市の里山保育の発信
- ・市民団体育成のための支援

### 企業様のメリット

- ・子育て世代を中心とした市民や行政との直接的つながり
- ・すでに動き始めている事業のため、実現性が高い。

近江鉄道活用促進事業や木地師・ガリ版の磨き上げ事業など、応援いただきたい取組が多数あります